

合格体験記 (AO方式入学者選抜)

第Ⅰ項 学芸 学部 国際教養 学科

出身高校名 兵庫県立国際高等学校

(1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は幼い頃から他国の言語や文化に興味を持ち、中学生の時にオーストラリアへホームステイしたこときっかけに長期留学することを夢見るようになりました。高校は国際科で国際的に授業が多かったので「高校の学びを生かし、この先も勉強したい」と思いました。同志社女子大学学芸学部国際教養学科では長期留学ができ、サポート体制が整っていることから安心して留学でき、国際的に分野を広く学びたいと思い、第一志望に決めました。

(2) AO方式入学者選抜を受けようと思った理由。

同志社女子大学を第一志望としていたので、受けられる試験は全て受けようと考えていました。また私はどうしても同志社女子大学で学びたいという気持ちを直接伝えることができると思い、AO方式入学者選抜を受けました。

(3) AO方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

私は主に部活動とSGH(スーパーグローバルハイスクール)での活動をアピールしました。部活はジャズバンド部に所属し、その中でトランペットパートリーダーとバンドと観客を一体化して場を盛り上げる、専属MCを務めたことと、SGHで移民研究を行い、研究結果を校内、校外で英語を発表してアピールしました。

(4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

自分の今までやってきたこととこれから何がしたいのか、そして同志社女子大学でなければいけないということが伝わるように書きました。そのために何度も書き直し、学校の先生に見てもらい、時間をかけて作成しました。私は夏休みから書類作成に取り組みましたが塾や他の勉強に追われてなかなか進めることができず、提出日ギリギリに出しました。余裕をもって取り組むことをおすすめします。

〔面接〕

面接では落ちついてゆっくりはきはきと話し、言いたい事を簡潔にまとめることを意識しました。志望理由など確実に聞かれると予想していたものは何度も何度も練習しました。また私は英語面接が心配だったので高校の英語科の先生や外国語指導助手に依頼をしてたくさん練習してもらいました。

(5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

書類作成にはかなり時間がかかるので、早めに準備することをおすすめします。自分一人では進めないのでなく、周りの大人や友達にアドバイスをもらいながら書き進めていくとよりよいものができると思います。今まで自分では分からなかった自分の長所や特技を見つけておけるかもしれません。